

## アールスメロン新品種「サカエ秋冬」の特性

農業研究センター 農産園芸研究所 野菜部

担当者：末永 善久

### 研究のねらい

本県のアールスメロンは全て市販品種であり、県独自品種がない状態である。本県の主要品種の「セイヌ系」は糖度が高く、ネット形成が容易で作りやすい品種であるが、後半の樹勢が弱まりやすく、果皮色が灰緑色で高級感にやや欠けており、食味においてもアールス純系に比較して劣っている。このため品質がよく他県産地との競合に勝ち抜ける独自ブランドの確立を図る。

### 研究の成果

- 1 草勢は「セイヌ系」より強く、「雅秋冬」よりもやや弱い。両性花の着生は9月上～中旬交配期において約90%の着生率であり、安定している。
- 2 果皮色は灰白色で高級感を有し、果形はほぼ正円形となる。果実肥大性は「サカエ秋」よりやや優れる。  
果実肥大性は12月上旬収穫タイプで約1.5kgである。果実内部品質は果肉色が黄緑色で、糖度は15度程度まであがり、「セイヌ系」より食味は優れる。日持ち性は「セイヌ系」並であり、果実の黄化は発生しない。
- 3 耐病性ではつる割れ病抵抗性はない。うどんこ病に対しては抵抗性は有しないが、純系より発生は少なく、「セイヌ系」と同等である。

### 普及上の留意点

- 1 適応作型は8月中～下旬播種の11月中～12月上旬収穫（加温が前提）である。
- 2 定植前につる割れ病予防のため、土壌消毒を行う。

表 1 育成系統の果実特性及び収量調査

播種 年月日	品種 系統	果重 g	果形 比	ネット		果皮 色	糖度 (BX)		食味	a 当たり 秀優収量
				盛上り a	揃い b		胎座	中央 c		
H9 8/25	セイヌ秋冬	1697	1.06	3.5	3.9	灰緑	14.6	11.2	並	216 kg
	テムズ秋冬	1407	1.01	3.6	3.5	灰白	14.5	12.7	やや良	139
	<b>サカ工秋冬</b>	<b>1463</b>	<b>0.99</b>	<b>3.6</b>	<b>4.0</b>	<b>やや灰白</b>	<b>14.3</b>	<b>13.8</b>	<b>良</b>	<b>214</b>
H10 8/11	セイヌ秋冬	1607	1.04	3.6	3.6	灰緑	15.2	10.4	並	125
	テムズ秋冬	1553	1.01	2.9	3.0	灰白	14.8	11.7	やや良	66
	雅 秋 冬	1441	1.04	3.7	3.6	灰白	14.8	11.1	やや良	66
	<b>サカ工秋冬</b>	<b>1519</b>	<b>1.06</b>	<b>3.7</b>	<b>3.7</b>	<b>灰白</b>	<b>14.8</b>	<b>11.5</b>	<b>良</b>	<b>137</b>
H10 8/5 d	セイヌ秋冬	1762	1.02	4.1	4.0	灰緑	14.9	10.0	並	159
	<b>サカ工秋冬</b>	<b>1743</b>	<b>1.01</b>	<b>3.3</b>	<b>3.2</b>	<b>やや灰白</b>	<b>15.2</b>	<b>13.5</b>	<b>良</b>	<b>141</b>

注) a,b: 無~有 (0~5)

c: 果実赤道面の果肉の中央部 d: 現地

表 2 育成系統の試食調査結果 (協力: 社団法人熊本県野菜振興協会)

H10.12月2日

系統・品種	外観評価					果実内容					総合		
	点数				順位	点数				順位	点数	順位	
	皮色	盛上り	密度	小計		果肉色	香り	食感	甘み				小計
セイヌ秋冬 (農産)雅	5.0	5.0	5.0	15.0	5	5.0	5.0	5.0	5.0	20.0	5	35.0	5
秋冬(県産)	5.8	5.9	6.1	17.8	4	5.3	5.4	6.0	5.8	22.5	4	40.3	4
<b>サカ工秋冬</b>	<b>6.8</b>	<b>5.4</b>	<b>6.5</b>	<b>18.7</b>	<b>2</b>	<b>7.0</b>	<b>6.3</b>	<b>7.0</b>	<b>6.9</b>	<b>27.2</b>	<b>2</b>	<b>45.9</b>	<b>3</b>
アールス純系(静岡産)	8.2	7.7	7.9	23.8	1	6.9	6.7	6.9	6.5	27.0	3	50.8	1

注) セイヌ秋冬 を 5.0 としたときの 10 点満点での評価 (採点者は外観 18 人、内容 19 人)



写真 1 サカ工秋冬果実